

宝塚市議会 議会報告会

令和5年第4回（9月）定例会

# 産業建設常任委員会報告

報告者：産業建設常任委員会委員 大川 裕之

## 【付託議案一覧 11件】

- 議案第75号 宝塚市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第76号 宝塚市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第77号 令和4年度宝塚市水道事業会計決算認定について
- 議案第78号 令和4年度宝塚市下水道事業会計決算認定について
- 議案第81号 工事請負契約（（都）荒地西山線道路新設改良工事（その1））の変更について
- 議案第82号 財産（救急自動車）の取得について
- 議案第83号 財産（救急自動車）の取得について
- 議案第84号 損害賠償の額の決定について
- 議案第90号 公の施設（宝塚市営住宅）の指定管理者の指定について
- 議案第91号 公の施設（宝塚市公益施設）の指定管理者の指定について
- 議案第92号 公の施設（宝塚市立文化施設及び宝塚市立宝塚文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎））の指定管理者の指定について

## 【議案第76号 宝塚市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について】

### Q.1 どのような内容？

- 料金改定のための条例改正 ⇒ 来年度（R6.4.1）から水道料金が値上がり
- R6年度は経過措置として、値上がり幅は半分 ⇒ 全面実施はR7年度から
- 4,800円 ⇒ 5,740円（口径20mm、2カ月に40m<sup>3</sup>使用、税抜）

### Q.2 なぜ料金改定が必要？

- 水道水を作る単価（供給単価） > 水道水を売る単価（給水原価）の状況が続いている
- 市域が広く、高低差が大きいため、配水・給水のための動力費や維持管理費が大きい
- 1980年から42年間、料金改定していない ⇒ 近隣市と比較しても、安価な部類に

### Q.3 議会の意見は？

- 40年以上値上げをしていないが、もっと早い段階で値上げの検討をすべきだったのでは
- 経営戦略で定めた目標の未達成があるが、もっと経営努力をすべきではないか
- 物価高騰の今の時期の値上げ。市民に対して、十分に説明を尽くすべきでは

## 【議案第77号 令和4年度宝塚市水道事業会計決算認定について】

### Q.1 どのような内容ですか？

- 466,861千円の純損失 ⇒ 令和元年度から4年連続で赤字
- 川下川ダムの渇水により阪神水道企業団からの受水を増量し、受水費が約6,800万円の増
- 電力料金の高騰のため、動力費が約5,900万円の増

### Q.2 監査委員の意見は？

- 経営状況について ⇒ 検証を実施しながら経営計画を適宜見直すべき
- 宝塚市水道事業経営戦略について ⇒ 目標値達成を前提としたあらゆる取組に尽力
- 退職手当組合に対する負担金等に係る会計間の調整について ⇒ 過去の経緯等を含めて文書化

### Q.3 議会での質疑は？

- 通常時と渇水時の受水単価の差は ⇒ 最大受水量の7割までは一定、7割を超えた受水は1.2倍
- 配水池の統廃合を進めるべきでは ⇒ 配水池3箇所、ポンプ場3箇所の統合をそれぞれ進めている
- 基幹管路の耐震化目標が達成できない理由は ⇒ 工事費上昇により工事延長が伸びていない

## 【議案第78号 令和4年度宝塚市下水道事業会計決算認定について】

### Q.1 どのような内容ですか？

- 119,829千円の純利益 ⇒ 平成26年6月に料金改定 平成27年度より黒字化
- 企業債残高が減少し、支払利息が約5,000万円の減
- 電力料金の高騰のため、流域下水道維持管理費が約2,900万円の増

### Q.2 監査委員の意見は？

- 経営状況、宝塚市下水道事業経営戦略、退職手当組合負担金等に係る会計間の調整
- 宝塚市下水道ストックマネジメント計画について ⇒ 令和7年度での達成は非常に難しい
- 有収率及び不明水対策について ⇒ 令和4年度に大きく増加。今後も引き続き不明水対策を

### Q.3 議会での質疑は？

- 雨水が汚水に入り込む箇所の改善は ⇒ カメラ調査し、劣化部分を集中的に工事予定
- 流域下水道維持管理費の推移予想は ⇒ 電気料金と不明水に影響される。不明水対策に
- 水道事業からの借入金の現状は ⇒ 12.7億円（R4） R6に17.3億円となるがR12には完済

# ご清聴ありがとうございました。

詳細資料は

 

で検索